国連環境計画　国際生物多様性の日　記念シンポジウム

UNEP

生物多様性からみた森林利用
―過去、現在、未来―

5月22日（火）
13:00～17:00
（12:30開場）

会場は
早稲田大学
大隈小講堂
（大隈記念講堂地下）

●森林利用は景観をどのように変えてきたか？　―北関東での調査から―
宮本麻子（森林総合研究所）

●変わりゆく森林・林業、生物多様性：オーバーユースからアンダーユースへ
山浦悠一（北海道大学）
岡　裕泰（森林総合研究所）

●里山林の生物多様性を育む「搾取」を継続させるには
津布久隆（栃木県環境森林部）

●シミュレータが予測する森林の生物多様性
岡部貴美子（森林総合研究所）

コメンテータ
湯本貴和（京都大学霊長類研究所）
森川　靖（早稲田大学）
鈴木正勝（林野庁）

主催：独立行政法人　森林総合研究所・早稲田大学環境総合研究センター

詳細はhttp://www.ffpri.affrc.go.jp/event/2012/20120522tayousei/index.html
お申し込み、お問い合わせは　tayousei2012@ffpri.affrc.go.jp　まで（当日参加もOK）